

科目分類	看護専門科目 応用看護		開講時期	3年	前期
科目名	在宅看護学Ⅱ				
選択/必修	必修	単位数(時間数)	2単位	30時間	授業形態 講義
担当教員	家根 明子 ・ 横山 浩誉				
メールアドレス	a-yane@tsuruga-nu.ac.jp(家根) h-yokoyama@tsuruga-nu.ac.jp(横山)	オフィスアワー	随時可能であるが、事前に予定を確認することが望ましい。		

授業目的	地域医療サービスシステムにおける在宅看護の位置づけを明確にし、在宅看護が担う役割を多角的・総合的に理解する。また、現況の地域医療サービスシステムを基盤にして学生自らが在宅看護サービスを考え企画立案する。
授業概要	現在の日本の地域医療サービスシステムを在宅看護の視点から歴史を踏まえて理解する。また、在宅看護を支える法的制度、および多職種の機能、広義の在宅医療現場からの情報等を得て、今後の在宅看護の課題について学習し、実践モデルを立案する。
授業計画	<p>第1・2回 オリエンテーション、地域包括ケアシステム構築の背景-医療の機能分化・統合と在宅看護<家根></p> <p>第3・4回 在宅療養者が暮らす地域の理解①②<横山></p> <p>第5回 地域医療サービスを担う専門職の役割①訪問看護事業所<家根></p> <p>第6回 地域医療サービスを担う専門職の役割②在宅療養支援診療所<横山></p> <p>第7・8回 在宅療養者が暮らす地域の理解③④(演習)<横山・家根></p> <p>第9回 地域医療サービスを担う専門職の役割③地域包括支援センター<家根></p> <p>第10回 地域医療サービスを担う専門職の役割④居宅介護支援事業所<家根></p> <p>第11・12回 在宅療養者が暮らす地域の理解⑤⑥(演習)<横山・家根></p> <p>第13回 地域の課題から考える必要な看護サービス<横山></p> <p>第14回 在宅療養者が暮らす地域の理解⑦(まとめ)<横山・家根></p> <p>第15回 まとめ-地域包括ケアシステムにおける看護職の役割<横山・家根></p>

<p style="text-align: center;">教材 参考文献等</p>	<p>教科書：河原加代子ほか 系統看護学講座 在宅看護論 医学書院 関連資料はその都度用意する。 参考書：授業のなかで適宜紹介する。</p>
<p style="text-align: center;">成績評価 基準・方法</p>	<p>定期試験（60%），課題（40%）で評価する。＊授業の 2/3 の出席をもって評価の対象とする。また，遅刻・早退 3 回で欠席 1 回とみなす。</p>
<p style="text-align: center;">履修要件</p>	<p>在宅看護学Ⅰを履修していること。</p>
<p style="text-align: center;">留意事項 その他</p>	<p>本科目を修得していないと、在宅看護学実習Ⅱは履修できません。 ・具体的な講義内容と準備学習は，第 1 回目に示す。</p>
<p style="text-align: center;">実務経験のある 教員の教育方法</p>	<p>看護師としての在宅看護の経験を活かして，地域包括ケアシステムでの在宅看護の役割を理解し，在宅看護サービスを考案できるよう講義および演習を行う。</p>